慶應志木会会報

慶應志木会（慶應義塾志木高等学校同窓会）

2018 vol.38

集まれ、志木高OB！5年に一度のお祭りだ！

第７回
慶應志木会大会開催のお知らせ

平成30年11月3日 ㊏・㊗ 15:00-17:30

東京プリンスホテル鳳凰の間

参加費は抽選会参加チケット、
参加者限定ノベルティプレゼント付きで**１万円ぽっきり！**

アクセスすれば
あなたも
大会情報通！

大会専用情報ツールを作成いたしました。

- **大会専用ウェブサイト URL：https://www.keioshikikai7th.com/**
  最新情報更新、参加申込み、各種お問合せ、各種募集などすべての情報がご覧になれます！
- **Facebook**
  仲間同士の情報交換、最新情報確認にご利用ください。
- **Email：taikai7th@keio-shikikai.jp**
- **TEL：048-471-1959**
- **FAX：048-471-1974**

参加賞

オリジナル首かけストラップ

参加申込み、各種お問合せにご利用ください。

大会概要は裏面をご覧ください。

会長ご挨拶

慶應志木会会長 **松下 賢次**

志木会会員の皆様

平成 30 年（2018 年）は５年に一度の「志木会大会」の年です。新高輪プリンス飛天の間で、皆様とお目にかかり楽しい時間を過ごしたのがつい昨日のようですが、５年の歳月が流れました。あの頃は米・朝のトップが会談するなどとは夢にも思っていませんでした。世は正に「想定外」の連続。忖度・改ざん・二刀流等、時代の流れはスピードを増すばかりです。

小生も５年前には考えてもみなかった、総合格闘技の実況をやるようになりました。齢65を数える小生は、「今出来ることを何でもやる」をモットーにして、「想定外」を無くすようにしています。MLB の大谷選手の活躍を見ていると、正に前人未到のプレーの連続ですが、本人にとっては全てが「想定内」なんだなと思わせます。

志木会も遂に会員総数が１万５千人を突破しました。会員の絆を一層太くして、「想定外」を吹き飛ばして前に進んでいきたいと思います。

今年の 11 月３日、東京プリンスホテルで志木会大会が行われます。衣川潤実行委員長をはじめ、関係者の皆さんが楽しい企画を練りに練っています。今年は「志木音楽祭」的な音楽を中心とした催しになりそうです。

2023 年に志木高は、創立 75 周年を迎えます。母校で学ぶ後輩たちが、より伸び伸びと学園生活を送れるよう、我々でバックアップして行きましょう。それでは 11 月３日にお会いしましょう。

第7回 志木会大会実行委員長からのご挨拶

志木会大会 実行委員長 **衣川 潤**

慶應義塾志木高等学校卒業生の皆さん、こんにちは！ 来る 11 月３日に芝東京プリンスホテルにて開催される志木会大会実行委員長の衣川 潤（21 期）です。よろしくお願い致します。

我らが母校志木高等学校は、昭和 23 年（1948 年）に農業高校として設立され今日に至っておりますが、2023 年には創立から 75 周年を迎えます。創立 75 周年に当たっては、学校側も記念事業を計画しており、ＯＢ会たる志木会としても当該事業に対してはできる限りの支援を行っていきたいと考えています。志木会会長以下関係者間にて既に検討を開始しております。

５年毎に開催される志木会大会も今回で７回目を迎えますが、今回の大会は上記記念事業に向けて志木会としての支援活動の第一歩として位置づけ、ＯＢたる皆様と意識の共有を図り、その後の資金や寄附集めの活動の輪を広げて行く一助にしたいと考えております。

志木会メールマガジンで既にご案内の通り、今回は参加費も抑え、趣向も志木会による志木会の為の会になる予定です。どうぞ皆様奮ってご参加下さい。母校志木高の更なる発展を祈念しつつ、仲間との旧交を温め、楽しいひと時を過ごしましょう！

名誉会長ご挨拶

慶應義塾志木高等学校校長
慶應志木会名誉会長

髙橋 美樹

今年も、慶應義塾志木高等学校同窓会による「慶應志木会会報」が刊行されました。会報を通じて「志木高 OB の今」と「志木高の今」をつなぐことは、「志木高の未来」を紡ぐことにつながります。約 30 年の長きにわたり 38 回目の会報の編輯・発行を支える体制が承継されてきたということ、改めて、心よりお喜び、また御礼申し上げます。

「志木高の未来」については、昨年の会報でも触れさせていただいたとおり、開設 75 周年事業が本格的に始まりました。慶應義塾志木高等学校は 2023 年に開設 75 周年を迎えます。また、開設 80 周年の 2028 年には、現行の校舎が法定耐用年数（減価償却）60 年を迎えます。現在、周年事業の一環として、「慶應義塾志木高等学校ならではの教育」はどのようなものか、それを具現化するためにはどのような施設が必要か――等々、多面的に検討をしているところです。

慶應義塾の一貫教育校として、「慶應義塾の目的」に書かれているような、「気品の泉源・智徳の模範」、「躬行実践、以て全社会の先導者たらん」などは当然として、志木高らしい教育、志木高ならではの教育をどこに求めるか、が問われています。

最終的な結論が出るまでにはもう少し時間が必要ですが、教育面では、少人数教育、ダイバーシティ（バリアフリー、LGBT、国際交流等を含む）、「実学」（サイエンス）の精神、を重視することについては、おおよその合意が得られています。また、それを具現化するための施設の面では、当面は、小ホール、ギャラリー、少人数教育向け教室、和室、音楽教室等を含む、「75 周年記念多目的棟」の建設が中心になります。

慶應志木会にご支援いただいている、「慶應志木会奨学金」「慶應志木会賞」「国際交流支援資金」が、上にあげたような教育に役立っていることは言うまでもありません。昨年度、奨学金については、３名の生徒が恩恵にあずかりました。本年３月 24 日（土）に大森正仁常任理事ご臨席のもと行われた卒業式では 275 名の生徒が巣立ちましたが、志木会賞については、７団体（37 名）と２名の生徒を表彰いただきました。国際交流支援資金は、ダイバーシティ教育を実践する上で重要な、国際交流について、活用させていただきました。様々な場面でご支援いただけたこと、たいへんありがたく存じます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

４月６日（金）には、長谷山彰塾長ご臨席のもと入学式が行われ、256 名の新入生を迎えました。69 期の彼らもまた、近い将来、志木会のメンバーに加わり、慶應志木会、慶應義塾志木高等学校発展の上で、大きな戦力となることが期待されます。

慶應志木会は、今年、設立 30 周年を迎え、11 月３日（土・祝）には、５年ごとの大同窓会である、志木会大会が開催されるとお聞きしました。当日は、本校の「学校説明会」にあたるため、途中からの参加となりますが、多くの志木会の皆様とお会いできることを楽しみにしております。

末筆ながら、会員各位のご健勝と貴会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

志木会費制度の変更について

本年度（平成 30 年度）より、会費制度の変更をさせていただくことになりました。

従来、「5 年で 1 万円」（年 2,000 円換算）としてまいりました。会費納入率（平成 29 年度実績）は、全卒業生約 15,000 人の約 18％と低く、会費徴収低迷により、志木会活動が決して楽な状況ではありませんでした。将来に向けて志木会の財政を安定させ、継続的に志木高を支援する盤石な体制づくり、さらには OB の繋がりを充実するため、学校側と話し合いを重ね、次のように変更することに至りました。

【新制度について】

❶ 卒業時に卒業生全員より「終身会費」として 30,000 円／人を納付いただく。

❷ OB の従来の会費制度を基本、廃止する。（詳細、右記参照）

- すでに合計 3 万円以上を納入済の OB からは、今後会費徴収はしない。
- 但し、合計 3 万円を未納の OB（58 期以降）は、3 万円迄の残額を徴収する。

今回の会費制度の変更にあたり、志木高への支援、志木会活動をより充実させ活発なものにしていきたいと考えます。

また、2023 年に迎える「志木高創立 75 周年」に向けて、周年事業を財政的にも支援する体制を整え、寄付を募ることを予定しております。今まで以上のご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます。

慶應志木会奨学基金について

志木高生が、家庭の経済状況の悪化により、勉学を継続できなくなる実状を学校から伺い、基準を設け、学校側で該当する学生を選択いただき支援する体制を構築。「慶應志木会奨学基金」制度として発足しました。これにより、平成 21 年度秋より毎年数名への給費（平成 29 年度までに合計 22 名）が実現できました。皆さまの奨学基金へのご協力を心より感謝しております。

現在、基金額で運用益を確保し、その後も皆様からのご協力をいただいております。長期にわたり給費の安定的な継続と給費対象者・給付費額の拡大を図るために、志木会では、寄付金の募集を継続します。引き続き、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

なお当基金へのご寄付は、慶應義塾への使途指定寄付金として税制上の優遇措置（寄付金控除）を受けることができます。下記事務局にお問い合わせいただき、所定の申込書にてお手続きをお願いいたします。後日、慶應義塾より領収書並びに所得税・法人税の寄付控除証明書が送付されます。

【 募 金 要 綱 】

募金単位 1口 1万円

払い込み方法 詳細は、慶應志木会事務局にお問い合わせいただき申込書を依頼ください。

TEL：048-471-1959　Mail：info@keio-shikikai.jp

志木高教職員の動向

教員

退　職▶専任（有期）　鈴木 恵美 君（国語科）　非常勤講師 14名

新　任▶なし　非常勤講師 11名

人事交流による異動

志木高→中等部▶前北　馨 君（国語科）　交流期間終了

女子高→志木高▶徳竹 成之 君（数学科）　交流期間終了

職員

退　職▶派遣（化学実験補助）　1名

新　任▶派遣（化学実験補助）　1名

【志木高・志木会行事日程】

	慶應志木会		志木高等学校
	H30年度予定	H29年度実績	H30年度予定
4月		4/29 枇杷の会 （帆船明治丸から富岡神宮界隈）	4/6 入学式（10:00） 4/7 ガイダンス 4/19 健康診断
5月	5/14 幹事会 5/26 ＊校内自然観察会	5/20 ＊校内自然観察会	5/8~10 1年生総合学習研修旅行 5/23 運動会
6月	6/2 5高JKカップ 6/23 第5回 志木マスターズ 姉ヶ崎カントリー倶楽部 6/23 枇杷の会 （初夏の北鎌倉から虚子記念館）	6/3 5高JKカップ 6/12 ＊幹事総会	6/2 慶早戦 6/25~29 第一回 定期試験
7月	会報発行	会報発行	7/2~4 クラスマッチ 7/18 第124回 志木演説会 7/23~ 夏季休業
8月	8/7 幹事会		
9月	9/3 幹事会 9/22 ＊校内自然観察会	9/16 ＊校内自然観察会	~9/7 夏季休業 9/25~28 2年研修旅行・3年見学旅行 9/25~26 1年救命講習
10月	10/6 歩こう会 ”多摩地区の名所を訪ねて” 10/27 ホームカミングデー（収穫祭） （18期&43期：志木高） 幹事会	10/7 歩こう会 ”目黒から三田へ 歴史と自然に触れる” 10/28 枇杷の会（洗足池公園） 10/28 ホームカミングデー（収穫祭） （17期&42期：志木高）	10/27~28 収穫祭
11月	11/3 第7回 志木会大会 （東京プリンスホテル） 11/24 枇杷の会 （晩秋の砧緑地一帯）	11/3 第4回 志木マスターズ 東千葉カントリークラブ	11/3 学校説明会 11/20~27 第二回 定期試験 11/28~30 クラスマッチ
12月			マラソン大会 12/17 第125回 志木演説会 12/25~ 冬季休業
1月			~1/5 冬季休業 自己推薦入試 1/8~12 第三回 定期試験（3年）
2月	幹事新年会	幹事新年会	一般・帰国入試 2/20~23 第三回 定期試験（1.2年）
3月	3/24 卒業式 卒業40周年招待（29期）	3/24 卒業式 卒業40周年招待（28期）	3/24 卒業式（10:00）

＊志木高校内自然観察会は宮橋教諭（理科）を中心に開催されます（卒業生参加可）
＊枇杷の会は本井英元教諭（国語）のご指導のもとに開催されます
＊平成 30 年 5 月 14 日より幹事総会の名称を「幹事会」へと変更いたしました

『慶應志木会賞』について

慶應志木会賞は、クラブおよびその他の活動において、特に功績のあった団体または個人の業績を称え、もって学校生活の向上に資することを目的として平成19年3月の卒業式に初めて贈呈されました。体育、文化、一般の3部門において教員からの推薦をもとに選考委員会で決定し、本年で12回目を迎えます。

本年度は、7団体と2名の生徒を表彰いたします。

1. 競走部（1名）
推薦者：競走部部長　大瀧　学　教諭
H29年度　全国高等学校総合体育大会陸上競技大会
秩父宮賜杯第70回全国高等学校陸上競技対校選手権大会出場

2. 水泳部（2名）
推薦者：水泳部部長　樋口　裕輔　教諭
H29年度　日本高等学校選手権水泳競技大会　他（2年連続受賞）

3. ゴルフ部（1名）
推薦者：ゴルフ部部長　宮﨑　倫彰　教諭
H29年度　PGM世界ジュニアゴルフ選手権日本代表選抜大会
東日本決勝大会出場　他

4. スキー部（1名）
推薦者：スキー部部長　岡田　吉央　教諭
H29年度　全国高等学校総合体育大会スキー競技出場

5. ホッケー部（5名）
推薦者：ホッケー部部長　前北　馨　教諭
第72回国民体育大会に埼玉県代表として出場

6. 端艇部（12名）
推薦者：端艇部部長　池田　卓也　教諭
第72回国民体育大会に埼玉県代表として出場　他（6年連続受賞）

7. 器楽部（15名）
推薦者：器楽部部長　小池　陽　教諭
第17回東日本学校吹奏楽大会　金賞受賞
第23回日本管楽合奏コンテスト全国大会・高等学校A部門
最優秀賞受賞ならびに審査員特別賞受賞（2年連続受賞）

8. 大橋　裕樹 君
推薦者：吉川　誠二　教諭・蒲田みどり数学科非常勤講師
第13回「和算に挑戦」中級の部　優秀賞

9. 鈴木　悠斗 君
推薦者：原　浩史　教諭・小澤　純　教諭
第29回　現代学生百人一首　入選
入選作品「無意識に　つけてしまった　クーラーに　夏は終わりと　言われてるよう」

以上

體育部會NOW／第18回

剣道部 部長　大垣内　暖人

平成 27 年、剣道部は創立 50 周年を迎えました。剣道場には、部を立ち上げてくださった現 OB 会長中村福義先輩をはじめ、350 名を超える多くの先輩方の流した汗水が滲み込んでいます。その剣道場で今日も現役部員たちが素振りをし、踏み込みをし、体当たりをし、長い伝統の末端として汗を重ねています。ここでは過去３年のトピックスをご紹介したいと思います。

【平成 27 年度】

５月、剣道場にて剣道部創立 50 周年記念式典が催されました。来賓として鳥居泰彦元塾長（全日本学生剣道連盟会長）や福本修二体育会剣道部名誉師範（全日本剣道連盟副会長）など、一高校の部活のイベントとは思えぬほどの、錚々たる剣道界の面々にお越しいただき、祝賀を共にされました。鳥居元塾長からは「一剣清風」との揮毫をいただき、参加者に手ぬぐいが配布されました。また、この日は長年剣道部をご指導されてきた福本裕教諭のご勇退を祝う会ともなり、多くの卒業生が参加されました。

10 月、埼玉県西部地区新人大会において、団体戦３位入賞を果たしました。先輩方に伺いますと、団体戦での入賞は過去に記憶がないとのことでした。

【平成 28 年度】

秋から 29 年春にかけて、おそらく過去最少の部員数で活動をしていました。その数わずか３名。剣道の団体戦は５人戦ですので、いわずもがな、２不戦敗の状態で戦うわけですが、３名とも卑屈にならず、堂々と大会に臨みました。常に気勢を上げた状態で稽古をし続け、何とか伝統の襷をつなげました。

【平成 29 年度】

１年生３名の入部があり、6 名での活動となりました。夏の五大学付属大会では、チームとして結果は残せませんでしたが、前記の江口君はインターハイ選手に競り勝つなどの活躍を見せました。

９月、第８回を数える早稲田大学本庄高等学院との「早慶戦」が、例年の 10 人戦を５人戦（勝ち抜き制）に縮小して開催されました。ここでも背水の陣を引かれた大将江口君が３人抜きを記録し、逆転優勝を成し遂げました。早慶戦の通算成績はこれで７勝１敗となりました。

【平成 30 年度】

５月、関東大会県予選では、強豪校川越東を相手に５人戦では決着がつかず、代表決定戦までもつれました。結果、残念ながら敗退となりましたが、川越東はその後ベスト８まで勝ち進みました。勝ちこそ逃しましたが、部員一同確かな手ごたえを感じました。この経験を次なる目標につなげていくべく、現在の活動にいたっています。

・・・

本年度は１年生６名の入部があり、ひさしぶりに二桁の部員数となりました。諸先輩にはご指導、ご支援を賜わり、特に監督の吉田先輩には熱心なご指導をいただき、おかげさまで日々剣の道を歩むことができています。今後とも志木会の皆さまのお力添えを頂戴したいと、ここにお願いを申し上げます。

文化部会NOW／第18回

器楽部 部長　小池　陽

今年度器楽部では 20 名の新入部員を迎えることが出来ました。ご存知の通り、そもそも志木高には高校時代音楽に勤しもうと思って入学してきた生徒など、本当にごく僅かしかおりません。従って器楽部に入部した生徒たちは、毎年そのほとんどが志木高に入学してから楽器を始めます。新入部員たちにいきなり合奏など出来るはずもありません。器楽部での音楽活動は、まず、楽譜の読み方など音楽を始めるにあたって必要な知識の習得や、リズムを打ったり歌ったり踊ったり、まるで音楽教室での小さなお子さん相手のリトミックのようなことから始まるのです。今年度もまったく同様、素人ばかりの新入部員たちです。

さて、器楽部では一年間の活動の集大成として、毎年３月に定期演奏会を開催します。「第１９回定期演奏会」は、平成 30 年３月 20 日（火）と 21 日（春分の日）に、志木市民会館を会場として４回の公演を行いました。生憎当日は季節外れの降雪に見舞われましたが、しかし大勢のお客様にステージをご覧いただき、拍手や歓声をいただくことが出来ました。驚くのは、ふだん活動を共にする機会のない、遠方の学校の吹奏楽部の生徒さん方がいらっしゃったことです。それも県内はおろか関東各県、遠くは新潟県、北陸や東北地方からもご来場下さいました。恐らく埼玉県代表として上位大会に出場した際の、遠征地でのパフォーマンスをご覧になったのが切っ掛けかと思いますが、いずれにしても自分たちの演奏会にご来場下さる方々が大勢いらっしゃることで、部員たちは自信を深め、努力が結実することを確信するのです。入部時、まったくの素人であった部員たちが、卒業する頃にはなんと自信に溢れたステージを行うようになることか……。毎年毎年、彼らの成長した姿を見るたびに、高校時代の３年間というものがいかに大きなものであるのかを、顧問として強く思い知らされます。

クラブ戦績

クラブ	戦績
體育部會	
硬式野球部	第 99 回選手権埼玉大会　1 回戦 vs 本庄第一 1 － 7/ 新人大会　2 回戦 vs 蕨 5 ×－ 4（延長 11 回）　ブロック決勝 vs 岩槻商業 8 － 5/ 秋季地区予選　1 回戦 vs 浦和北 4 － 2　県大会代表決定戦 vs 浦和 2 － 7/ 春季地区予選　1 回戦 vs 川口青陵 0 － 2
競走部	H29 年度　インターハイ予選　西部地区大会　県大会出場権獲得者小澤亮太　400 m　優勝　800 m　3 位横山竜也　5000 m / インターハイ予選　埼玉県大会　関東大会出場権獲得者　小澤亮太　400 m　優勝 / インターハイ予選　関東大会　全国大会出場権獲得者　小澤亮太 400 m　4 位 / 山形インターハイ　小澤亮太　400 m 準決勝出場 / 国体予選　西部地区大会　小澤亮太　400 m　優勝 / 新人戦　西部地区大会　県大会出場権獲得者横山竜也　5000 m　3 位 / 全国高校駅伝予選　埼玉県大会　34 位 / 埼玉県駅伝競走大会　20 位 / 志木会賞受賞小澤亮太
卓球部	H30.4　関東予選兼インターハイ予選　県大会出場　団体戦（井上・木下・滝本・山部・小島・森谷・貝塚・上脇・宮武）
庭球部	H29　新人大会（団体）ベスト 8（個人シングルス）ベスト 32　鳴戸　ベスト 64　須藤　出場：早川、永山、斎藤、加部（個人ダブルス）ベスト 16　須藤・鳴戸　ベスト 32　中谷・柳内、早川・永山、野村・斎藤 /H29 1 年生チーム対抗戦　県優勝　/H30　関東高校埼玉県予選（個人シングルス）ベスト 32　鳴戸　ベスト 64　中谷　出場 : 須藤、早川、柳内（個人ダブルス）ベスト 32　須藤・鳴戸、中谷・柳内　出場 : 早川・永山、野村・斎藤
ラグビー部	新人戦県大会　7 位 / 関東大会県予選ベスト 16/ 国体県予選 3 位 / 全国大会県予選　ベスト 16
端艇部	H29 年度慶應志木会賞受賞（3 年生 12 名）/ 関東大会〔茨城県潮来〕:5 位（M4X+）/ インターハイ予選 :1 位（M4X+）·3 位（M2X）·3 位（M1X）/ 南東北インターハイ〔宮城県長沼〕: 準々決勝進出（M4X+）/ 県新人戦 : 準優勝（M4X+）·3 位（M1X）/ 関東選抜大会〔神奈川県相模湖〕:5 位（M4X+）/ 第 87 回早慶レガッタ :A レース 2 位（M4X+）/ 第 68 回戸田レガッタ :5 位（M4X+）/ 関東大会県予選 :5 位（M2X）·8 位（M1X）　※関東大会〔千葉県小見川〕出場決定（M2X·M1X）
バレーボール部	H29 年度　埼玉県西部地区春季大会　一回戦シード　二回戦 vs 立教新座 2-1（勝利）　三回戦 vs ふじみ野 0-2（敗北）　順位決定戦　一回戦 vs 所沢北 0-2（敗北）/ 関東大会埼玉県予選会　一回戦 vs 大宮東 0-2（敗北）/ インターハイ埼玉県西部地区予選会　一回戦 vs 新座柳瀬 2-0（勝利）　二回戦 vs 城西川越 2-1（勝利）/ インターハイ埼玉県予選会　一回戦 vs 秀明英光 1-2（敗北）/ 六大学附属リーグ戦　予選リーグ vs 早大本庄 0-2（敗北）vs 明大中野 2-0（勝利）vs 慶應藤沢 0-2（敗北）vs 法政 2-0（勝利）　予選リーグ 3 位通過 / 六大学附属リーグ戦　順位決定リーグ vs 慶應高校 0-2（敗北）vs 明大明治 2-0（勝利）vs 日大 2-0（勝利）　最終順位 5 位 / 個人賞　セッター賞 2 位　山本龍弥　リベロ賞 2 位　杉本好隆　ブロック賞 3 位　大石楓 / 埼玉県私学大会　予選リーグ vs 昌平 0-2（敗北）vs 城北埼玉 2-0（勝利）　順位決定戦　一回戦 vs 浦和学院 1-2（敗北）/ 西部地区技術講習会（一年生の部）予選リーグ vs 和光国際 0-2（敗北）vs 所沢北 0-2（敗北）/ 選手権大会埼玉県西部地区予選会　一回戦シード　二回戦 vs 川越南 0-2（敗北）　代表決定戦　一回戦 vs 狭山経済 1-2（敗北）/ 埼玉県西部地区新人大会　一回戦シード　二回戦 vs 城北埼玉 0-2（敗北）　代表決定戦　一回戦シード　二回戦 vs 狭山経済 1-2（敗北）/ 西部地区優秀選手表彰　杉本好隆
ホッケー部	H29.4 インターハイ 1 次予選 vs 聖望 3-1　vs 飯能南 0-10/H29.5　インターハイ 2 次予選 vs 聖望 3-1　vs 飯能南 0-10　vs 皆野 0-25/H29.10　県予選 vs 聖望・皆野合同 7-0　vs 飯能南 0-7/H30.1　新人戦 vs 聖望・皆野合同 1-1　vs 飯能南 1-18
サッカー部	埼玉県新人大会西部支部予選 : 2 回戦 3-0 新座柳瀬　3 回戦 3-5 立教新座
バスケットボール部	H29.8 西部支部大会　優勝 /H29.11 西部支部新人戦　優勝 /H30.1 埼玉県新人戦　ベスト 16

クラブ	戦績
弓術部	H29　全国高校総体個人予選（5/3,6/11）塚田　三次予選進出 5/8　/ 関東個人選抜県予選（8/23）鶴見　二次予選進出 4/8　/ 全国選抜県予選（11/5）A チーム　横堀・塚田・長谷川　二次予選進出 8/24　/ 全早慶高等學校弓道大會（8/23）59/120　全 8 校中 4 位　/ 筑波大學付属高等學校定期戦（1/21）66/120 － 31/120 より勝利 / 六校対抗弓道大會（1/28）56/120　全 6 校中 4 位
ゴルフ部	H29　関東高等学校ゴルフ選手権男子決勝大会　第 51 回個人の部　長倉聖弥　17 位 /H29　全国高等学校ゴルフ選手権　文部科学大臣杯争奪　第 61 回　個人の部　出場
剣道部	浦和高校定期戦 5 人残（勝）/ 西部地区剣道大会（団体）2 回戦敗退　（個人）福田 2 回戦敗退　江口・浅野・小中 1 回戦敗退 / 関東大会予選（団体）2 回戦敗退 / インターハイ予選（団体）2 回戦敗退（個人）江口・福田 1 回戦敗退 / 朝霞地区剣道大会　江口　準優勝 / 第 62 回五大学付属剣道大会　10 位 / しらこばと杯争奪高校剣道大会 1 回戦敗退 / 第 8 回早慶高校対抗剣道試合本戦（勝）/ 西部地区新人大会　ベスト 16/ 埼玉県剣道大会　小中 2 回戦敗退　福田 1 回戦敗退 / 初心者講習会　藤本 3 位 / 埼玉県新人大会 1 回戦敗退 / 柴田旗大野杯争奪剣道大会　1 回戦敗退
スキー部	インターハイ予選　GS 境 1 位　今村 5 位　若松 18 位　岡本 31 位　SL 境 1 位　今村 6 位　若松 23 位　岡本 28 位 / 国体予選　境 DF　今村 DF　若松 17 位　岡本 20 位　大橋 27 位 / 埼玉県選手権大会　SL 境 32 位　今村 71 位　GSL 境 3 位　今村 39 位　岡本 68 位 / 関東高校スキー大会　GS 今村 DS　若松 DF　SL 今村 DS　若松 82 位 / 全国高等学校スキー大会　GS 境 67 位　今村 DS　SL 境 DF　今村 DS/ 長野県選手権　SL（1 戦）境 62 位　（2 戦）境 DF/ 上越国際カップ GS 大会（1 戦）若松 58 位　大橋 63 位　岡本 DF　今村 DF（2 戦）若松 60 位　岡本 62 位　大橋 64 位　今村 DF/ 上越国際カップ SL 大会（1 戦）若松 57 位　岡本 DF　大橋 DF　（2 戦）岡本 68 位　若松 73 位　大橋 74 位 /FIS 蔵王ライザジャイアントスラローム大会（1 戦）境 29 位　今村 94 位（2 戦）境 47 位　今村 83 位 /FIS 秋田八幡平スラローム大会　（1 戦）境 50 位（2 戦）境 57 位 / 関東スキー選手権大会 SL（1 戦）岡本 36 位　若松 40 位　大橋 43 位（2 戦）大橋 39 位　岡本 DF/ ゴールドウイングカップ阿寒スラローム大会（1 戦）境 DF（2 戦）境 53 位
ソフトテニス部	H29 年度　東京六大学附属高校大会個人の部　3 ペアベスト 16 進出 / 埼玉県新人大会西部地区予選個人の部　2 ペアベスト 64 進出　1 ペア県大会出場 / 埼玉県新人大会西部地区予選団体の部　ベスト 8 進出　県大会出場 / 埼玉県私学大会個人の部　1 ペアベスト 16 進出　H30 年度　関東予選埼玉県予選西部地区大会　1 ペアベスト 64 進出　1 ペア県大会出場 / 関東予選埼玉県大会　ベスト 32 進出　インターハイ予選埼玉県大会出場
水泳部	埼玉県高等学校総合体育大会　男子総合 8 位　50m 自由形　奥山丈太郎 : 7 位　400m 自由形　野田瑛太 : 3 位　400m 個人メドレー　野田瑛太 : 2 位　800m フリーリレー【木根・野田・奥山・今井】8 位 / 全国高等学校総合体育大会　400 m個人メドレー　野田瑛太 : 3 位
軟式野球部	第 62 回選手権埼玉大会　2 回戦 vs 市立浦和南 10-5　同準決勝 vs 正智深谷 0-1/ 県秋季大会　2 回戦 vs 城西大川越 2-4/ 県春季大会　1 回戦 vs 市立浦和南 12-9　2 回戦 vs 伊奈学園 0-6
空手部	関東高等学校空手道大会埼玉県予選　団体組手　5 位 / インターハイ埼玉県予選　団体組手　5 位 / 埼玉県新人戦　団体組手　5 位
文化部会	
器楽部	器楽部·平成 29 年度成績　第 57 回埼玉県吹奏楽コンクール県大会《高等学校 B の部》金賞受賞 / 第 23 回西関東吹奏楽コンクール《高等学校 B の部》金賞受賞 / 第 17 回東日本学校吹奏楽大会《高等学校の部》金賞受賞 / 第 23 回日本管楽合奏コンテスト全国大会《高等学校 A 部門》最優秀賞・審査員特別賞受賞
ワグネル・ソサィエティー男声合唱団	第 60 回埼玉県合唱コンクール　銀賞受賞 / 第 29 回埼玉県ヴォーカルアンサンブルコンテスト　銀賞受賞

俳句「志木・枇杷の会」で友達の輪を広げませんか！

枇杷の会幹事・深瀬啓司 君（15 期）

夏井いつきさんのテレビ「プレバト」は「俳句は難しい」とか「俳句は高級」という偏見は拭い去ってくれました。それは大きな功績です。しかし、枇杷の会（ビワの会）はプレバトのような競い合いとは全く無縁、日本独特の俳句という知的遊びが先輩、後輩をつなぎ、友を増やす手段になっています。 枇杷の会では吟行と呼ばれる自由課題の俳句作り、作品のお披露目句会､その後は無礼講でビールの一杯を楽しませていただいております。これを機会に枇杷の会を覗いてみませんか。

今年度は次のように開催します。
志木会会員各位の参加をお待ちしています。又ご友人やご家族の参加も歓迎です。

◇平成 30 年 6 月 23 日（土）12 時半 JR 横須賀線鎌倉駅集合、
初夏の紫陽花や青葉が見頃の鎌倉宮、永福寺その他を廻り虚子立子記念館で句会

◇平成 30 年 11 月 24 日（土）、晩秋の世田谷の砧緑地界隈を予定

参加の申し込みは
志木会事務局まで。

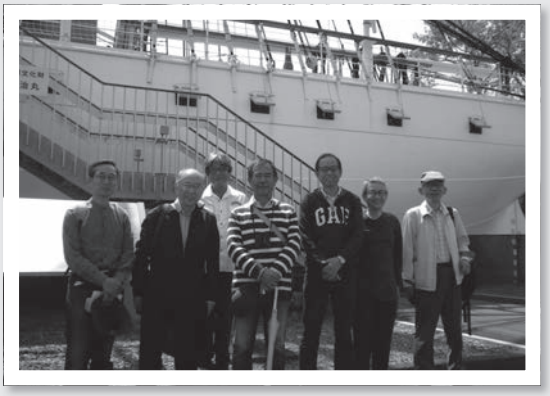
――― 昨年は次ぎのように実施しました。―――

・平成 29 年 4 月 29 日（土）
帆船明治丸から牡丹が見頃の門前仲町界隈

・平成 29 年 10 月 28 日（土）
初紅葉の大田区洗足池、西郷ドンの廟の周囲

（以上の詳細は志木会ウェブサイトに掲載）

平成 15 年 6 月に志木高で旗揚げしてから、今年 6 月の北鎌倉界隈句会で 45 回目になります。第 1 回句会からこれまでご指導頂いている、本井英元教諭に感謝感謝です。



写真は改装された帆船明治丸をバックに（H29. 4 .29）

志木歩こう会“ 多摩地区の名所を訪ねて ”

慣例の「志木歩こう会」を今年度は下記の要領で実施致します。
志木会会員各位の参加をお待ちしております。ご家族の参加も歓迎です。

開催日時：平成 30 年 10 月 6 日（土）午前 10 時～午後 4 時頃　＊小雨決行

コース：ＪＲ中央線・武蔵野線　西国分寺駅改札口　午前 10 時集合

東山道武蔵路跡 ⇨ 武蔵国分寺跡・資料館 ⇨ おたかの道湧水園 ⇨ 都立殿ヶ谷戸庭園 ⇨
梅の花国分寺店（昼食） ⇨ 平櫛田中彫刻美術館 ⇨ 江戸東京たてもの園 ⇨
武蔵小金井駅解散

参加申込：9 月 22 日までに志木会事務局宛メールにて（参加募集人数：20 名程度先着順）

会　　費：昼食 3,000 円程度、他に入館料、バス料金など

幹　　事：12 期　池崎秀四郎、岡田幸次郎

同期会&OB会だより

第 13 期 ―昭和38年卒―

４月 26 日（木）昼、四木会を銀座八丁目にある老舗の天麩羅屋「銀座天国本店」にて開催。

当日は、メンバー及び家族、友人を含めて 30 名が参加。

今回は、池波正太郎執筆で人気の高い「鬼平犯科帳」の中で、毎々物語に彩りを添えている料理を取り上げた「鬼平がうまいと言った江戸の味」の著者である江戸料理の第一人者「福田浩」氏による講演会を併せて開催。

冷蔵庫や保存料の無い時代だからこその「旬の食材」を生かした知恵と工夫に満ちた料理の数々。講演後に、江戸時代より親しまれてきた「天麩羅」を頂き、銀座の昼を満喫した至福の時でした。

次回は、7/26 木曜日 pm5:00 より、いつもの「銀座暫亭」の予定です。

第 15 期 ―昭和40年卒―

第 39 回亦楽会は平成 29 年 11 月 16 日に、三田の大学北館「ファカルティクラブ」にて開催されました。今回先生方はご都合悪く欠席されましたが、志木高卒業生同期会の中でも結束の固さで有名な「亦楽会」は、今年も 43 名と多くの方に参加をいただきました。

参加した皆が会場で久しぶりに顔を会わせればすぐに 50 数年前のあの頃にタイムスリップして、和やかな語らいとともに自然に会が始まりました。

今年のメインの催しは、D 組元田隆之君ご夫妻と B 組中村健一郎君及び志木高 5 期後輩の山崎君によるバンド「グリーングリーン」メンバーによる懐かしいフォークソングの演奏で、この日のために何度もリハーサルを重ねてくれた結果、見事な演奏を披露してくれました。

次は慶應義塾大学落語研究会所属の現役女子大生 2 名による落語で盛り上がりました。古希を過ぎたおじさん達があまり高座に近づかないよう、前面に椅子席を配置してそれ以上メンバーを前に行かせないよう工夫したことを気が付いたでしょうか（写真ご参照ください）。皆さん混乱なく楽しんでいただけたと思います。

みんなが思い出話で盛り上がったところでいつもの應援歌斉唱の時間になりました。今回は慶應大野

球部が秋の慶早戦を連勝して栄えある優勝を射止めたため「丘の上」を加えて、最後は「若き血」で元気に締めることが出来ました。来年もこの組み合わせで歌えたらいいですね。

さて、来年は亦楽会も第40回となります。この日に決まったクラス幹事は、A組平野井元久　B組五戸敏之　C組龍田尚哉　D組元田隆之　E組伊東正頼　特別幹事倉田伸二　このメンバーで来年の開催に向け入念にプランを練っていただきます。ご期待ください。

15期（亦楽会）　鈴木　幸一

第 16 期 ―昭和41年卒―

志世会は、年次会・月例会・春秋ゴルフコンペの開催を通じて、同期生相互の親睦を深めることを目的としております。

年次会は昨年10月26日に三田ファカルティクラブで開催されました。古稀祝いを兼ねて、元気な24名の参加がありました。志木高卒業以来というN君の参加も有り、大いに盛り上がった2時間でした。（尚、年次会は取敢えず今回を以て最後と致しました。）月例会は毎月第4木曜日18時より秋葉原・万世本店「呉越同舟」で開催しており、毎回3～10名程度の参加があります。（尚、1月例会は新年会として、三田慶応仲通り「湯浅」にて開催しました。）この会はいつの間にか10年目を迎えており、自然体で酒を酌み交しながら、友人の消息や病気自慢等を、和やかに語り合っております。又、月例会日程の定期性からか、昨年もパリ在住の音楽家、同じくシンガポールのエンジニア氏等が参加してくれました。ゴルフ会については、4月10日お花見コンペをアスレチックゴルフ倶楽部で14名の参加で開催しました。八重桜やハナミズキ等が点在するコースを好天の下､楽しくラウンドできた様です｡次回9月20日筑波C.C.は20回大会となりますので、奮ってご参加下さい。

16期　近藤　隆夫

第 22 期 ―昭和47年卒―

二八会を開催しました

前回の還暦同期会より4年を経過して、ちらほらと鬼籍に入った仲間の噂も聴こえてきた昨今です。何故か、来年開催予定の同期会が待ちきれず「約束より1年早いけど、みんなの顔が見たい！　来年に向けてどれだけ仲間が集まるのか試してみよう……」とか勝手な理由をつけまして、昨年の晩秋から幹事会が動き始めました。

「全員に連絡をつけたい」との思いで、前回の名簿を参考に整理に邁進してくれた増田君のおかげで、開催通知が2月上旬に同期全員へ発送されました。住所不明の仲間も多く､「なしのつぶて」の仲間を一

人でも多く発掘すべく、幹事会の不明者発掘作業は開催日直前まで続きました。

桜も散り始めた3月31日、帝国ホテル内「東京三田倶楽部」に参集した二八会メンバーは72名。鹿児島、福岡、札幌から駆けつけてくれた仲間もいました。前回開催より、わずかに4年しか経っていないにも拘わらず、仲間の白くなった髪や薄くなった頭が「年を取ったなあ……」と感慨ひとしおでした。やはり志木高の仲間と過ごす時間は楽しい。大変盛り上がった会となりました。

今回の同期会の運営にご尽力いただいた幹事の方々に感謝するとともに、参加された仲間及び今回会えなかった仲間の健康と益々の精進を願いつつ、次回開催は、1年後、平成31年3月30日（土）帝国ホテル内「東京三田倶楽部」にて、また、お会いできるのを楽しみにしています。

22期　深澤　澄

第 28 期 ―昭和53年卒―

平成30年3月24日、慶應義塾志木高等学校卒業式に卒業40周年記念ご招待を頂き、その後18:00~ 後楽園飯店にて9年目を迎えた28期同期会が開催されました。

今回は三條彰久元教諭にもご参加頂き、初参加者含め50余名が一堂に会し、40年前の懐かしい話題で大いに盛り上がり、斉藤陽一リーダー長（A組）の下、若き血とエールでお開きになりました。

今回ご出席頂いた方々、また残念ながらお会いできなかった方々も、本年11月3日の志木会大会、さらに来年の同期会でもお会いできます事を楽しみにしております。

今回も会場設定にあたりご尽力頂きました後楽園健康保険組合 幸山竜哉君（B組）また取り纏めをして下さった学年幹事の伊能重雄君（A組）、池田欽哉君（D組）に改めて御礼申し上げます。

28期の皆様でメールアドレス未登録の方は今後のイベントのお知らせの為にも是非info@keio-shikikai.jp気付 28期大舘宛、メールアドレスをお知らせください。現在約150名の登録を頂いておりますが、更に輪を広げたいと思っております。同期の方の消息をご存じの方、また、皆様の近況報告等もお寄せ下さい。

28期B組　大舘　信

バスケットボール部

我がバスケットボール部が創部55周年を迎え、去る平成29年12月2日に記念のパーティーを銀座にて開催いたしました。

総勢150名、来賓として元部長の後藤元教諭や大谷元教諭にもご参加賜り、大変に活気あふれる素晴らしいパーティーとなったことをご報告申し上げます。

現役諸君の活動の様子がその際に報告されましたが、ここ数年インターハイへあと一歩という状態が続いており、OBの結束で現役諸君をより一層盛り立てようという決意を新たにする良い機会となりました。

OB会である野火止会の新幹事体制もその場で承認され、以下の新体制が発足いたしました。

会　長　栗崎（S50/'75 年卒）　→　小暮（S53/'78 年卒）
副会長　木村（S62/'87 年卒・留任）
幹事長　平賀（H3/'91 年卒・留任）
会　計　前田（S59/'84 年卒）　→　平石（H9/'97 年卒）

大変悲しいことに、今回会長を退かれた栗崎さんが、２月 14 日ご逝去されました。謹んでお悔やみを申し上げるとともに、これまで頂いた多くのご恩を後輩たちに返していく所存です。

そのためにも、その後の年次総会で、以下の担当を加えることでより組織的に現役の支援・応援と会の持続的発展を期することとなりました。

会　計　品川（H7/'95 年卒）
総　務　深堀（H7/'95 年卒）　五十嵐　（H19/'07 年卒）
広　報　岡　（S55/'80 年卒）　高橋（H10/'98 年卒）
相談役　畑佐　（S52/'77 年卒）　矢沢　（S57/'82 年卒）　前田　（S59/'84 年卒）

現在現役諸君は、５月の関東大会予選、６月のインターハイ予選に向けて日々の練習を積み重ねているところです。

１月の県大会ではベスト 16 という結果でしたが、非常にポテンシャルの高い今年の現役が今回どこまで勝ち進むか、ドキドキ、ワクワクしながら見守っていきたいと思います。

41 期　文責・平賀

ホッケー部

「志木高ホッケー部から３選手が愛媛国体出場」

平成 29 年度の志木高ホッケー部は、３年生選手が 11 人いて、実力がとても充実したチームでした。残念ながら全国大会上位常連の飯能南高校には惜しくも勝てず、県代表にはなれませんでしたが、国民体育大会において特筆すべきことがありました。

国体の関東予選（８月）において、埼玉少年男子チームは、インターハイベスト８であった飯能南高のメンバーに、志木高から５人の選手が加わって出場しました。結果は、埼玉少年男子が見事関東で優勝し、優勝県のみに与えられる愛媛国体への出場権を獲得しました。国体本戦の出場者は、予選の 18 人から 13 人に絞られるため、愛媛国体には志木高から３人が選出されました。志木高生が国体の本戦に出場することはここ数十年の間には無い快挙でした。（出場者名：田畑智哉、土田凌太郎、川岸正明、吉田柚樹（予選）、吉田渓吾（予選））

愛媛国体の結果としては、10 月２日に１回戦が行われ、大変健闘しましたが残念ながら０－３で島根県に敗れました。しかしながら、国体５位ということで、出場した３人には後日賞状が授与されました。なお、優勝は決勝戦引き分けにより島根県、岩手県の両県でした。今回の国体経験は、予選の２人を含め５人の志木高生にとってとても大きな誇りとなり、大変に価値あるものとなりました。

慶應義塾志木高等学校ホッケー部　監督　神山　健一

應援指導部OB会

4月10日、東京三田倶楽部で應志会（慶應義塾志木高等学校應援指導部OB会）幹事会が開かれました。本年度は久し振りに志木高出身の菱田幸太郎君（中等部→志木高ラグビー部→法学部政治学科）が慶應義塾大学應援指導部の主将となったことのお祝いを兼ねて、彼を招待しての幹事会となり、盛り上がりました。

渡辺應志会会長の乾杯と挨拶から始まり、皆さん現役主将の菱田君を質問攻めに合わせるとともに、自分の現役時代を懐かしみました。

後半は、菱田君にも意見を聞きながら、どうすれば應援指導部を復活できるかについての活発な意見交換で盛り上がり、最後は菱田君に振ってもらっての「若き血」で閉会となりました。それにしても久し振りに間近で見させてもらった現役の振りの切れ味、良いものを見せてもらい、皆さん大満足の会となりました。

第5回志木マスターズ開催報告

6月23日（土）に姉ヶ崎カントリークラブにて志木マスターズが開催されました。今回は25期の吉井さん（姉ヶ崎メンバー）のご紹介により実現いたしました。

今年で5年目を迎えたこのコンペ、例年11月3日（祝）に開催してまいりましたが、今年は「志木会大会」の年となるため、時期をずらして初めて6月にしました。開催時期の変更により参加人数が伸びなかったらどうしよう⁉との懸念を他所に、3月末の段階で定員の80名となりました。その後、仕事関係等のキャンセルも出ましたが、過去最高の73名（7期～45期）の出席となり、大いに盛り上がりました。また、2023年に迎える志木高創立75周年に向けたチャリティーコンペとして、参加の皆様から総額¥70,500のご寄付を頂戴いたしました。ありがとうございます。後日、志木会口座に入金いたしました。

当日は、梅雨の最終日と思わせる予報で午後から雨となりましたが、気温が低くなかったので、半袖でプレーできました。見事優勝の栄誉に輝いたのは、第1回大会から連続出場してくださっている18期の坂本光規さんです。ホームコースでの優勝、素晴らしいです！　団体優勝は、25期チームでした。優勝メンバーの中の田中慎二さんが音頭を取ってくださり、同期で4組（16名様）ものご参加をいただきました。ベスグロ、ニアピン＆ドラコン、各賞を受賞された皆さん、おめでとうございました。

表彰式は、松下賢次志木会会長のご挨拶、龍田正浩元教諭のご発声による乾杯に続き、内山洋一志木会幹事長による志木会大会への参加申込方法のご説明がありました。衣川潤志木会大会実行委員長の〆のお言葉の後、45期の星川大輔さん（志木高應援指導部）による「若き血」を皆で肩組みながら熱唱し、お開きとなりました。

主な成績は以下の通りです。

個人の部

優勝	坂本 光規 さん（18期）
準優勝＆ベスグロ	桐敷　浩 さん（22期）
3位	元田 隆之 さん（15期）

団体の部

優勝　25期チーム
（田中慎二さん、堀口孝利さん、熊谷多加史さん、阿部匡さん）

志木会ゴルフ担当　36期　天野徳雄

ホームカミングデー報告

17期　前嶋晶廣

我々17期（のびdeメイト）は、昨年志木高卒業50周年を迎え、25周年の42期の方々と共に収穫祭時に合わせて開催されたホームカミングデーに招かれました。我ら17期のジーさん達は、遠路インドネシアからの参加者を含め何と53名もの同期が集まり、久しぶりの再会に大いに盛り上がりました。志木高卒業以来初めて訪れた人も多く、当時の木造校舎、薪ストーブのある教室、農場（我々が最後の農芸授業を受けた期）、野火止用水、寮生活等今はなき良き時代を懐かしむ話題を中心に２時間はあっという間に過ぎました。会の終盤には体育の後藤元教諭、大谷元教諭、国語の篠田元教諭が仲間に加わり、御年80歳を過ぎた後藤元教諭の「トゥーランドット」の美声に皆圧倒されました。このあと半数以上の方々と二次会のみ参加の３名も加わり、池袋ライオンビアホールに場所を移して50年前に戻った若者たちの大宴会が行われたのでありました。

今回このホームカミングデーに招いてくれた志木高と志木会に感謝すると共に、改めて志木高の仲間は永遠なり！

18期/43期 ホームカミングデーのお知らせ

日 時　平成30年10月27日（土）12：00～

場 所　志木高３階　会議室　　**会 費**　無料

申 込　出席ご希望の方は志木会事務局までご連絡下さい

収穫祭お知らせ

生徒会収穫祭実行委員会　委員長　平石 エチカ　君

皆さんこんにちは。第71回収穫祭実行委員長になりました平石です。

今年のテーマは「future travelers」に決まりました。これは直訳すると「未来への旅人」であり、文化祭という場を通して志木高生の輝かしい将来を「近未来」に例えて表現したい！という実行委員の熱い気持ちが込められています。

今年度も生徒全員が楽しむことはもちろんのこと、来場者の方々にも記憶に残るような活気溢れる文化祭を創り上げていきたいと思いますので、収穫祭実行委員の応援をどうぞよろしくお願いします。

卒業40周年ご招待

28期　池田欽哉

いよいよ、私たちの番となった。平成30年3月24日は、澄み渡る晴天の下、母校の卒業式へOBとして参列の日である。土曜日でもあり、73名の同期が参加する一大イベントとなった。

正門と斜路、体育館横の芝生＋柿の木は、40年の歳月を感じさせず、直ぐにタイムスリップした。斜路を登りながら、自然と視線は「教員室」へ、習性は変わらない。しかしながら、東上線が便利となり（板電車が懐かしい）、志木駅の様変わり、山田うどんを横目にダイエーを突っ切った動線はなく、駅前の変わりようも想像以上であった。

体育館へ入場し、壇上の福澤先生の肖像画に向かい合うと、緊張感を醸し出す。卒業式が始まると自らの思い出が薄いせいか、皆勤賞、精勤賞の多さ、列席するご父兄（いや、ご家族連れも少なくない）の多さに驚いた。時代は、変わっているのである。

式典の後、会議室にて学校主催の懇親会が催された。当然アルコールも提供された（ここは、○○之瀧ではないよね！）。当時の教員であった、後藤さん、三條さんも参加され、時々会っている仲間の輪に「君は、誰？」と云いながら、40年振りに合う仲間も加わり、四方山話に興じた。

宴席の後は、校内巡りをして、様変わりした施設やグラウンドの位置の変化に思い出を馳せ、あちこちで記念撮影会となった。野火止用水は暗渠化したが、雑木林が残る敷地は、さすが志木高である。

全員お揃いの記念撮影の前には、應援指導部の斉藤陽一君の指揮で若き血、慶應讃歌を肩組み合って唄ったオジサンたちであった。

２次会から参加する仲間のため、第２部はスタートが18時となり、志木から後楽園の間で途中下車して、かなり出来上がって参加するメンバーもいた。例年５月に開催している同期会を前倒しで伊能君が計画し、会場も幸山君のお世話で後楽園飯店を確保して盛り上がったのは、云うまでもない。そろそろ、還暦を迎える歳になるが、この仲間の集まりは、いつでも、どこでも楽しさに溢れている。参加できずに、この報告をお読みの同期の皆様とご一緒できることを期待している。志木会事務局経由で声を掛けられたい。

平成 29 年度　慶應志木会　収支報告書

［平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日］

単位：円

収　入		支　出	
適　要	金　額	摘　要	金　額
前期繰越金	17,221,305	会報費	2,766,041
		会議費	665,388
維持会費	2,020,000	式典費	60,000
新入会費	8,470,000	交際費	170,960
物販収入	308,295	通信費	42,780
役員会幹事会会費	308,000	事務費	16,490
払戻金	897	事業費	420,560
寄付金	37,886	パソコン関連費	179,378
預金利息	67	会費返却	
		収穫祭寄付	300,000
		卒業式寄付	300,000
		国際交流支援寄付	300,000
		卒業生記念品・志木会賞	692,800
		手数料	9,720
		物販費用	0
収入小計	11,145,145	支出小計	5,924,117
		次期繰越金	22,442,333
合　計	28,366,450	合　計	28,366,450

預金残高明細（平成 30 年 3 月末現在）

銀　行	種　別	適　用	管　理	残高金額
埼玉りそな	普通	入会金	金森	8,488,894
りそな	普通	一般	金森	727,637
ゆうちょ銀行	振替	会費口	金森	270,822
三井住友	普通	小口	天野	2,294,995
ゆうちょ銀行	普通	会費口	星野	9,732,926
埼玉りそな	普通	小口	星野	917,059
ゆうちょ銀行	振替	ﾊﾟｰﾃｨｰ会費	金森	10,000
りそな	普通	寄付	金森	0
合　計				22,442,333

【監査報告】

慶應志木会会則第 18 条に基づき、平成 29 年度（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の会計監査を実施いたしました。その結果、会計処理につきましては適正に処理されていることを此処に承認します。

平成 30 年 5 月 8 日

監　事　　原田　　薫　　（押印略）

監　事　　増山　治一郎

慶應志木会役員・幹事・クラブ幹事

■役員

名誉会長	髙橋	美樹（校長）			永井	利宗（27 期）	企画担当
会長	松下	賢次（21 期）			大澤	宏樹（35 期）	企画担当
副会長	金森	悟（27 期）	財務・情報管理・広報担当		矢下	健二（35 期）	企画担当
	大舘	信（28 期）	総務・企画担当		天野	徳雄（36 期）	財務担当
幹事長	内山	洋一（21 期）			田内	久晴（37 期）	総務担当
副幹事長	相田	英文（29 期）			大久保佐太郎（55 期）	広報担当
事務局長	宇野	宏（35 期）		**会計監事**	原田	薫（15 期）	
事務局幹事	坂上	隆彦（23 期）	総務担当		増山	治一郎（17 期）	

■顧問

顧問	櫻井	英太郎（1 期）	龍野	和久（1 期）	多田	毅（7 期）
	本橋	重夫（15 期）	鹿野	元章（16 期）	西村	孝一（17 期）
	金子	博志（20 期）	中村	弘司（23 期）	山﨑	嘉正（26 期）
特別顧問	阪東	宗文（16 期）	増山	治一郎（17 期）		

■幹事

期	卒業年	幹事					
1	S.26（1951）年卒	藤井 淳	松本 仙太郎				
2	S.27（1952）年卒	忽滑谷 岱司					
3	S.28（1953）年卒	品川 仁	菅野 光男				
4	S.29（1954）年卒	藤岡 民良	高橋 公郎	伊藤 金次郎	三浦 靖夫		
5	S.30（1955）年卒	寺嶋 延行	小林 石三	関山 清			
6	S.31（1956）年卒	真野 信裕	松本 福太朗	茂木 光義	梅澤 勉		
7	S.32（1957）年卒	熊崎 順次郎	鈴木 正治	渡辺 正			
8	S.33（1958）年卒	青木 宏至	品川 宗弘	大須 賀均	磯部 和宏		
9	S.34（1959）年卒	五老 輝彦	佐々木 弘暢	荒井 浩			
10	S.35（1960）年卒	馬場 紘二	斉藤 彰	細井 延昭	吉川 忠裕		
11	S.36（1961）年卒	馬渕 祥宏	森原 孝夫	菅谷 正樹	西 光由	渋谷 哲男	
12	S.37（1962）年卒	川久保 達也	岡田 幸次郎	原田 雄介	並木 美和		
13	S.38（1963）年卒	清水 武寿	椎野 開八郎	山本 雄一	飯島 智		
14	S.39（1964）年卒	小林 好二	築山 正俊	三関 峻	奥村 捷興	佐久間 義雄	藤田 正壽
15	S.40（1965）年卒	小笠原 準一	倉田 伸二	深瀬 啓司			
16	S.41（1966）年卒	緒方 信次	恩田 博司	近藤 隆夫			
17	S.42（1967）年卒	荘 敬典	北村 基樹	前嶋 晶廣	野村 真	中村 康二	川鍋 二朗
18	S.43（1968）年卒	伊藤 博行	黒田 豊	徳永 良			
19	S.44（1969）年卒	中西 廣策	鈴木 基晴	齋藤 治雄			
20	S.45（1970）年卒	中 一弥	杉 雅俊				
21	S.46（1971）年卒	飯島 敏一	福地 敏之	折登 泰樹	小林 哲男	森 光太郎	
22	S.47（1972）年卒	金子 康雄	櫻井 造雄	三木 哲郎	深澤 澄	江夏 雄二	増田 裕
		城 克	深井 昭				
23	S.48（1973）年卒	夏目 雅	梅澤 由起	森田 榮一	三義 英一		
24	S.49（1974）年卒	赤木 均	島影 幸有	田沼 潔	京本 修		
25	S.50（1975）年卒	小川 洋	髙橋 宣行	島田 徹			
26	S.51（1976）年卒	山田 純男	船山 剛	小池 雅澄	善木 達明	澤田 尚史	中川 龍士
		渡辺 規人	荻原 弘幸				
27	S.52（1977）年卒	鬼頭 真一郎	永井 利宗				
28	S.53（1978）年卒	伊能 重雄	池田 欽哉	南村 譲治			
29	S.54（1979）年卒	鳥羽 克治	清重 利昌	池上 忠嗣			
30	S.55（1980）年卒	岸田 一男	原田 仁敦	佐藤 正人	新 隆文		
31	S.56（1981）年卒	荻田 健之	福島 聡	布施 浩之	梶原 靖友	内匠屋 健	
32	S.57（1982）年卒	町野 素久	横江 資友	梅田 幸彦	鈴木 厚	伊勢 学	

期	卒業年	幹事					
33	S.58（1983）年卒	小玉　裕	河野　潔	青木　勝	本多　関雄		
34	S.59（1984）年卒	大内　正博	山下　孝	古長　玄一郎			
35	S.60（1985）年卒	須佐美　文忠	昌谷　健司	岩瀬　克也	永原　圭司	坂井　琢磨	萩原　太造
36	S.61（1986）年卒	阿部　元雅					
37	S.62（1987）年卒	鍋島　康友	永田　博詳	植島　博之	原田　純一		
38	S.63（1988）年卒	知久　康成	中里　栄基	金子　隆則	荒瀬　光宏		
39	H.1（1989）年卒	丸山　和紀	田中　浩樹	大西　重夫	鈴川　智徳		
40	H.2（1990）年卒	井上　晴生	税所　篤史	甲斐　正英			
41	H.3（1991）年卒	柏木　徹	三田　貴良	須田　光貴			
42	H.4（1992）年卒	安　重煥	小島　圭	御山　義明	大澤　康算		
43	H.5（1993）年卒	藪原　一暁	高松　智之	田口　錬			
44	H.6（1994）年卒	宮田　真詩					
45	H.7（1995）年卒	若松　洋雄	小山　一	小川　圭			
46	H.8（1996）年卒	谷口　剛	川崎　聡				
47	H.9（1997）年卒	小寺　俊且	谷　嘉康	森　茂之	西本　祥仁	濱岡　勇介	小林　圭
		前北　馨					
48	H.10（1998）年卒	亀山　雄高	黒川　真行	寺西　富広			
49	H.11（1999）年卒	石川　快	廣江　安彦				
50	H.12（2000）年卒	髙岡　功	徳田　征之	小林　敬英	齋藤　収		
51	H.13（2001）年卒	石井　強太	森川　渉	浅岡　良彦	治田　和明		
52	H.14（2002）年卒	毛呂　淳一朗	渡邉　慶太郎				
53	H.15（2003）年卒	森岡　多門	林　憲				
54	H.16（2004）年卒	塚本　大夢	中川　雅之				
55	H.17（2005）年卒	池端　俊太	小泉　貴史				
56	H.18（2006）年卒	大久保　匠馬	若林　隆晃	横澤　慶太			
57	H.19（2007）年卒	和田　亮	時田　亜希夫				
58	H.20（2008）年卒	宮山　明	佐藤　友紀				
59	H.21（2009）年卒	箱﨑　勇人	本多　清礼				
60	H.22（2010）年卒	岡田　哲哉	中込　健太	工藤　雄太	松井　洋	古川　創一	
61	H.23（2011）年卒	井上　裕紀	富澤　直嗣				
62	H.24（2012）年卒	荒木　謙人	岡本　尚之	加藤　将平	椎名　翔平		
63	H.25（2013）年卒	星野　真瑠也	星野　宏太				
64	H.26（2014）年卒	市川　広大	巽　祐一	池上　太悟	亀倉　玲	森　大和	
65	H.27（2015）年卒	秋田　雅信	友野　雅樹				
66	H.28（2016）年卒	小林　翔	恩田　真希				
67	H.29（2017）年卒	菱刈　太一	本間　健太郎	大森脩平	堀内悠生		
68	H.30（2018）年卒	松田　高幸	齋藤　正人				

■クラブ幹事

硬式庭球部	田中	真介（17期）	弓術部	小宮	雄造（30期）	枇杷の会	深瀬	啓司（15期）
硬式野球部	小川	光二（17期）	バスケットボール部	木村	尚敬（37期）	鉄道研究会	滝上	紘之（52期）
卓球部	浅生	潤（23期）	バスケットボール部	平賀	敦巳（41期）	ワグネル	山浦	元気（61期）
バレーボール部	進藤	英典（23期）	サッカー部	中村	直人（38期）	ワグネル	南	琳太（61期）
ホッケー部	菅野	芳哉（29期）	スキー部	渡辺	一仁（51期）	軟式テニス部	枇々木	規雄（34期）

【訃報】

顧問　宮田　勝君（5期）

謹んでご冥福をお祈りいたします

編　輯　後　記

最後までご覧下さいまして、有り難う御座いました。原稿をお寄せ下さいました皆様に、御礼申し上げます。今年は５年に一度の志木会大会の年と言う事もあって、会報のテイストを刷新しましたがいかがでしょうか……。

（編輯担当・さたらう）

慶應志木会会報　2018.vol.38

編輯・発行　慶應志木会（慶應義塾志木高等学校同窓会）
〒353-0004　埼玉県志木市本町4-14-1
TEL：048-471-1959（志木高内）
発　行　人　松下賢次
発　行　日　平成30年7月25日
印　　刷　㈱アレックス
ウェブサイト　http://www.keio-shikikai.jp/
電子メール　info@keio-shikikai.jp

第７回慶應志木会大会開催概要

◆ **日時：平成30年11月３日（土・祝）15:00-17:30**

◆ **場所：東京プリンスホテル鳳凰の間**　https://www.princehotels.co.jp/tokyo/

〒105-8560 東京都港区芝公園3-3-1　TEL：03-3432-1111

◆ **アクセス**

【電車で】

- JR 線・東京モノレール浜松町駅から徒歩 10 分。
- 都営地下鉄三田線御成門駅（A1）から徒歩 1 分。
- 都営浅草線大江戸線大門駅（A6）から徒歩 7 分。
- 都営地下鉄大江戸線赤羽橋駅から徒歩 7 分。
- 地下鉄日比谷線神谷町駅（3 番）から徒歩 10 分。

【お車で】

- 東京駅から 4km(平常時 約 10 分)。
- 羽田空港から 16km（首都高速道路芝公園経由 (平常時 約 15 分)。
- 東京シティエアターミナル (箱崎) から約 15 分（平常時）。
- 成田空港から東関東自動車道・京葉道路・首都高速芝公園出口を経て約 120 分（平常時）。

※駐車場は４時間まで無料でご利用いただけます。

◆ **会費：１万円（抽選会参加チケット、参加者限定ノベルティ含む）**

・同伴７千円　※大学生 OB、現役学生、同伴学生及び児童は無料

・お支払いは当日受付でお願いいたします。

事前割引振込はございません。
これ以上安くできません

みんなのための大会を、みんなで作って、５年に一度のお祭りを楽しもう！

【バンド合戦参加者募集】

Battle of the Bands

アトラクションは OB によるバンド合戦を企画いたしました。
昔の仲間とバンド再結成もよし、一人で盛り上げてやるというのもよし、参加者募集中です！
ウェブサイトお問合せフォーム、Email などでエントリー、お問合せをお待ちしております。
時間の関係で出演組数に限りがございます。早めのエントリーをお願いいたします。

【抽選会協賛賞品のお願い】

Special Gifts

一人でも多くの OB に参加していただきたく、
会費を抽選会参加チケットなどすべて含めて１万円ぽっきりにいたしました。
そのため、抽選会の賞品は皆様のご厚意「協賛」に頼ることになりました。
少数でも結構です！ 是非とも抽選会賞品のご協賛をお願いいたします。
ウェブサイトお問合せフォーム、Email などで協賛申込み、お問合せをお待ちしております。